

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにします。

A：目立つカラー：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

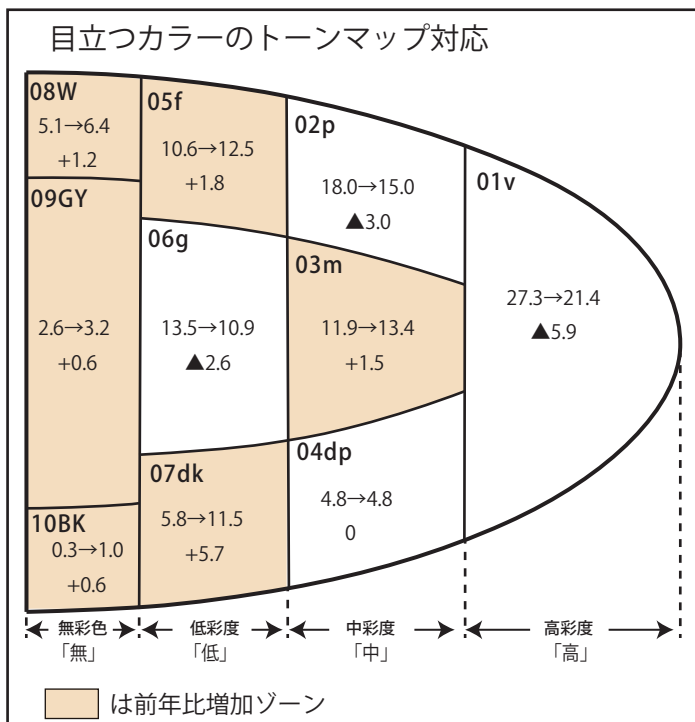
B：着装カラー：着ている服の色動向

C：アイテムカラー：各アイテム毎の色動向中心に、街頭写真のポイントなどを報告します。

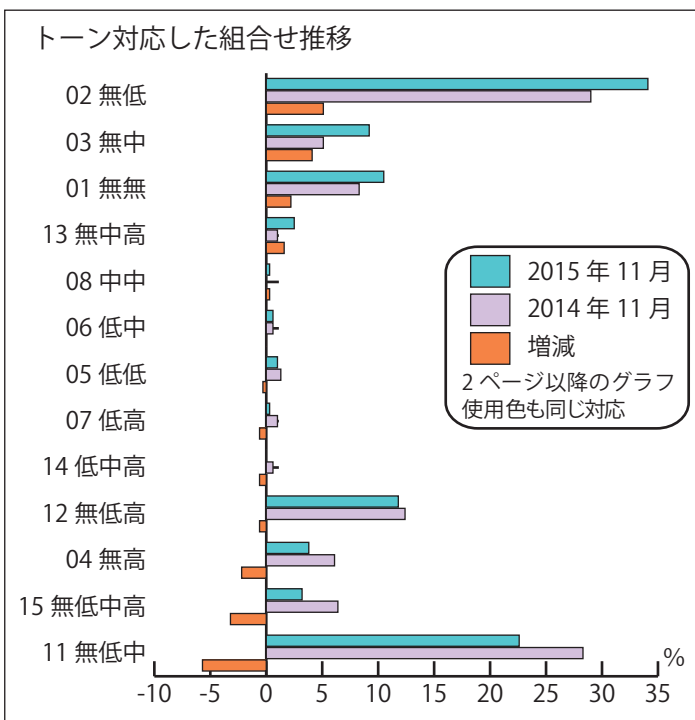
概要

日時 2015 年 11 月 04 日 21 度
2014 年 11 月 04 日 19 度
場所 神戸元町 (神戸大丸近く)
対象 20-50 代女性

A：目立つカラー (服以外含む)



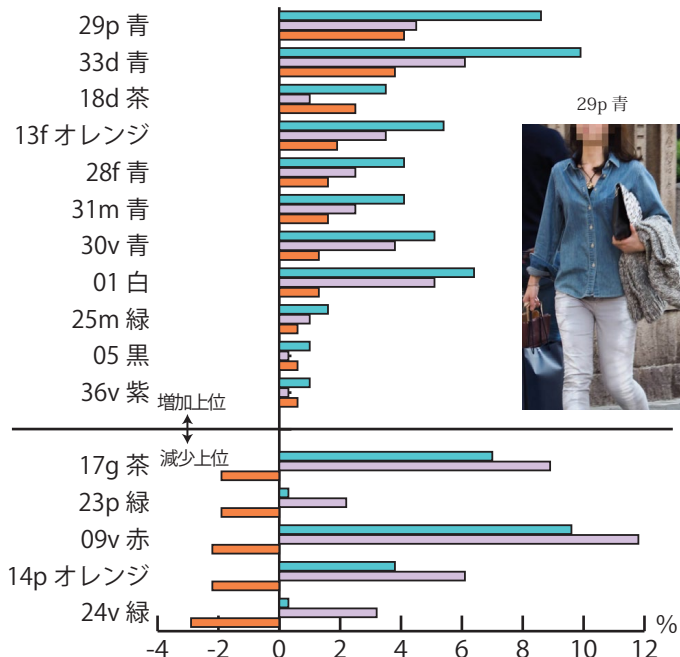
彩度別略文字とトーン対応				トーン記号			
無	無彩色	(08W 09GY 10BK)		1v	鮮やかな	06g	灰み
低	低彩度	(05f 06g 07dk)		02p	淡い	07dk	暗い
中	中彩度	(02p 03m 04dp)		03m	にぶい	08W	白
高	高彩度	(01v)		04dp	濃い	09GY	灰
				05f	かすかな	10BK	黒



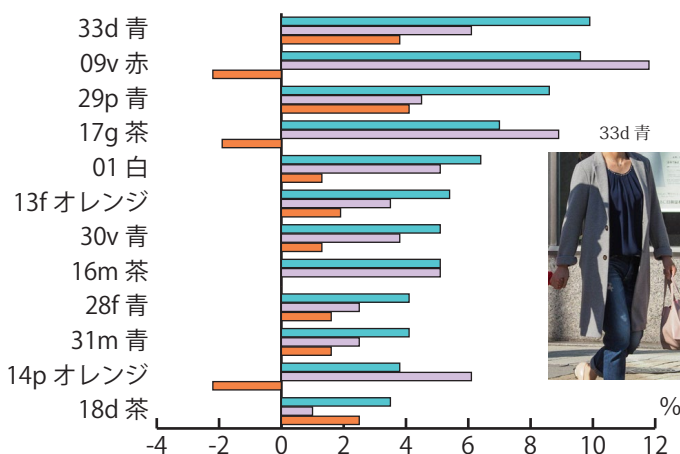
目立つカラーと着装カラーが似ていることが特徴となっています。目立つカラーのトーン対応を見ると、「高」からみの組合せが減少しています。

目立つカラーの注目カラーはブルー系で、増加 7 位までで 5 色登場しています。2 ページ、01v(鮮やかな)アイテム推移をみると、03 セーターは増加 1 位、反対に、04 カーディガンは減少 1 位となっています。今回、3 ページにはセーター、カーディガン毎に分けて着装カラー増減、丈推移グラフを見ていただきます。カーディガンの丈が長くなり、コートの着的に着こなされる関係でビビッドカラーが敬遠されています。着装カラーでは、目立つカラーを演出したニュートラル系、特に、白、明るい灰がリードしています。

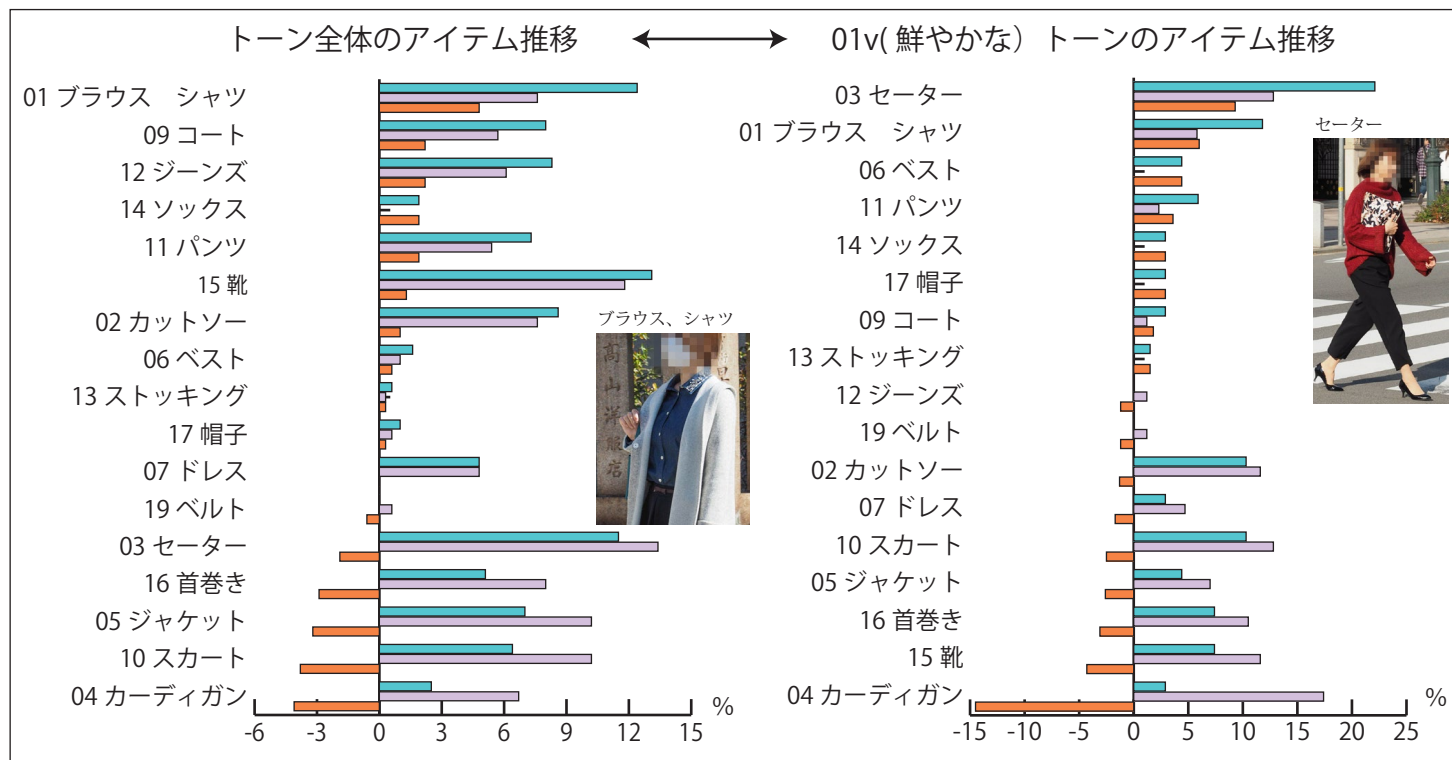
目立つカラー増減 (上位)



目立つカラー量的に多い順 (上位)

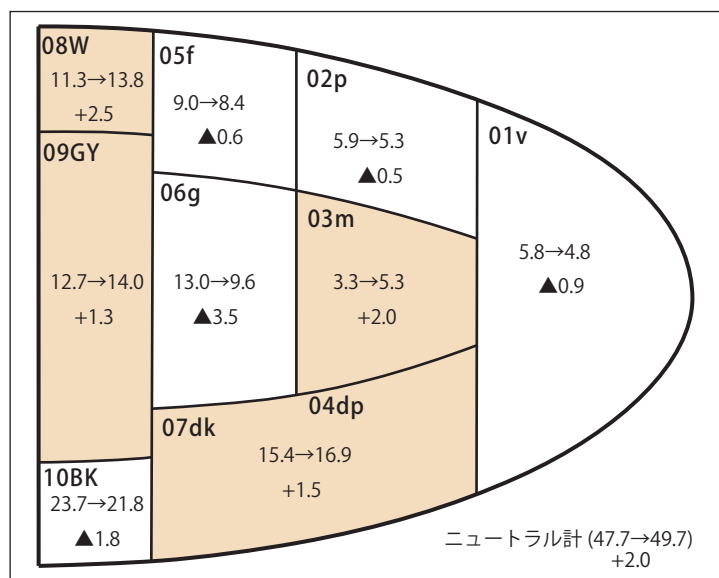


A：目立つカラー（服以外含む）

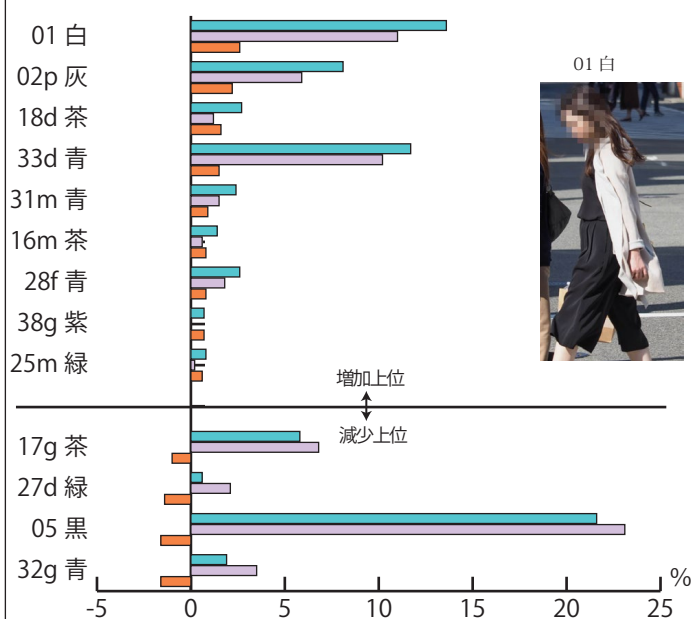


B：着装カラー

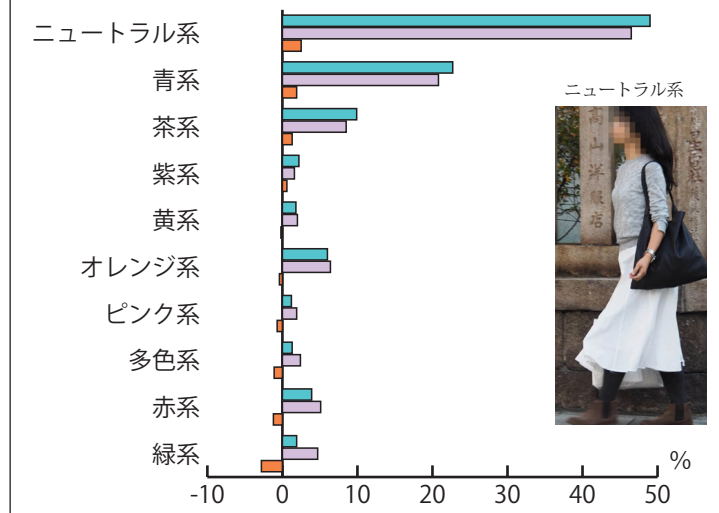
街頭で見た印象に近い着装カラー（服のみ）



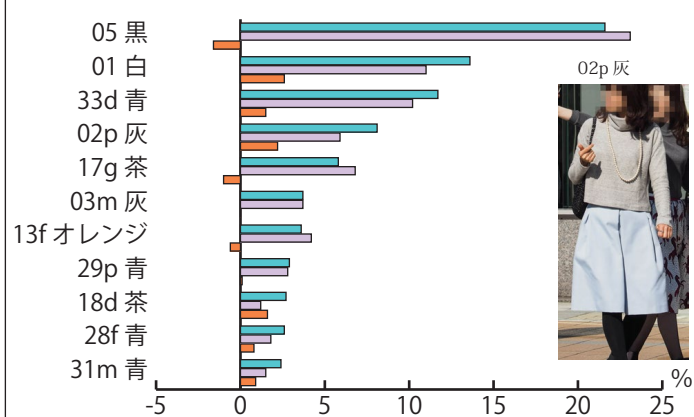
着装カラー増減（上位）



着装カラー（色相集約）



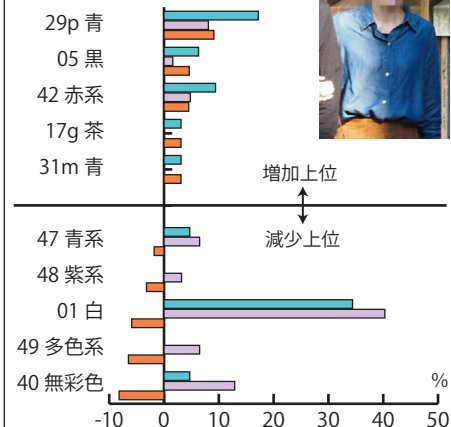
着装カラー量的に多い順（上位）



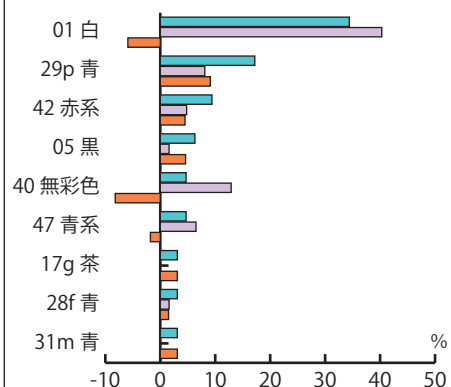
ブラウス

装着カラー増減 (上位)

29p 青



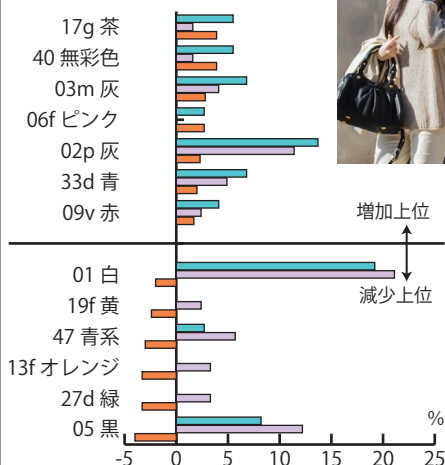
装着カラー量的に多い順 (上位)



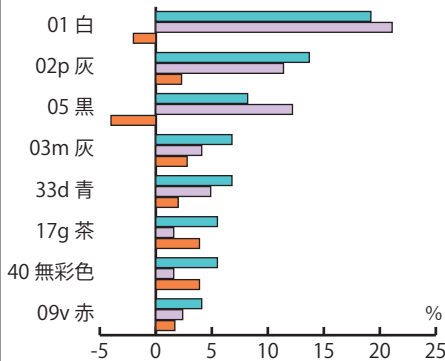
セーター

装着カラー増減 (上位)

17g 茶

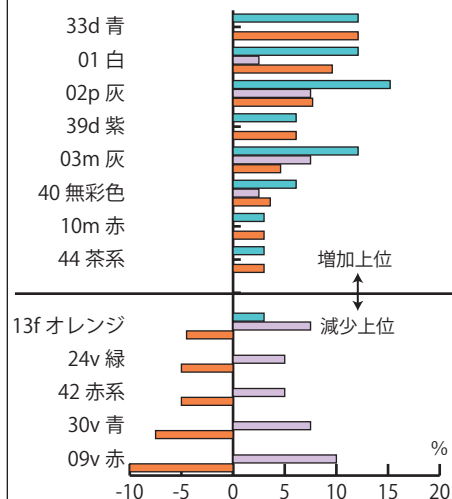


装着カラー量的に多い順 (上位)

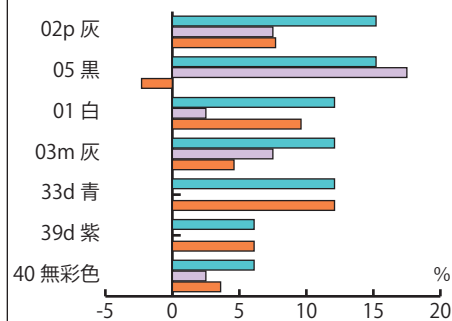


カーディガン

装着カラー増減 (上位)



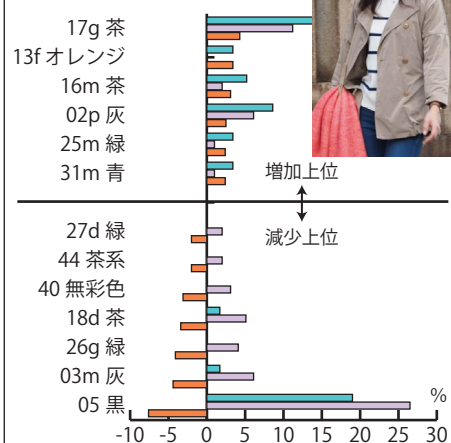
装着カラー量的に多い順 (上位)



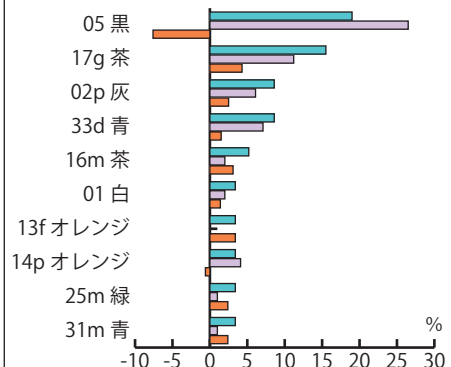
ジャケット

装着カラー増減 (上位)

17g 茶

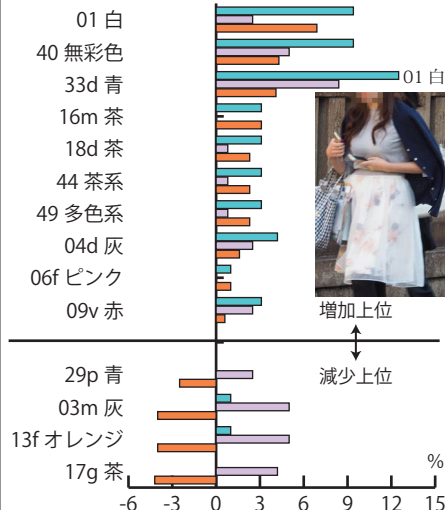


装着カラー量的に多い順 (上位)

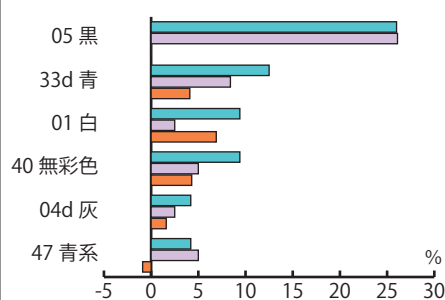


スカート

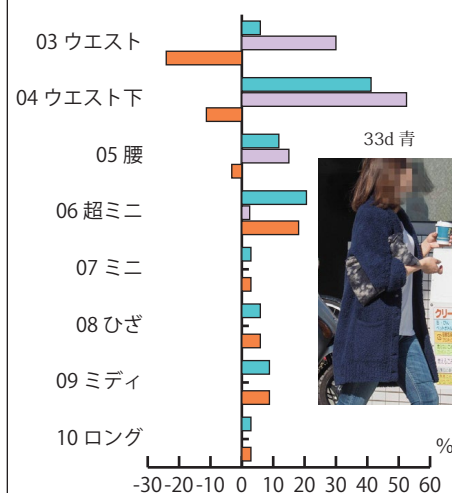
装着カラー増減 (上位)



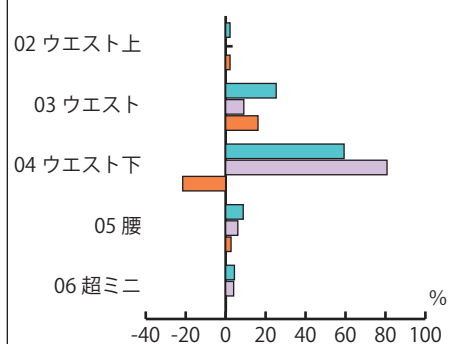
装着カラー量的に多い順 (上位)



カーディガン丈推移



セーター丈推移



街頭写真のポイント

目立つカラーは青系全般がリード

色相集約増加順は、ブルー系+12.1、ニュートラル系+1.9、ブラウン系+0.6
そのほかはすべて減少で、グリーン系-5.1、ピンク系-3.8、レッド系-2.5
量的に多い順は、ブルー系 33.4、ブラウン系 15.6、レッド系 14.3



着装カラーはニュートラル系が多い



着こなしいろいろ

ゆったり感

パンツ、ニット、ドレスなど



丈変化

ニット、ジャージのロング&ショート丈



生地組合せ

立体感、動きやすさの両立



スポーツ靴元気

ショートブーツも

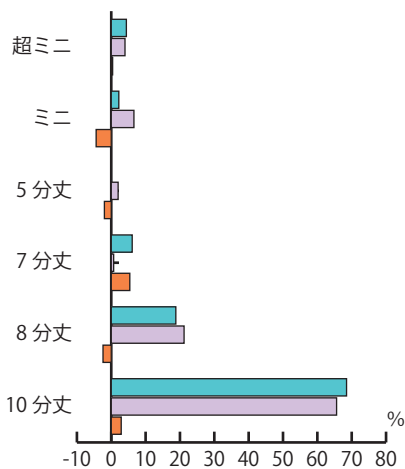


帽子など

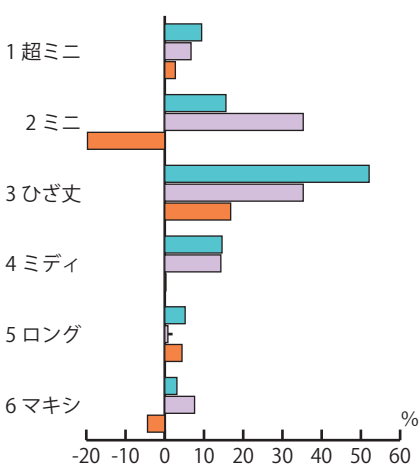
ベレーからハットに推移
ヘアアレンジも



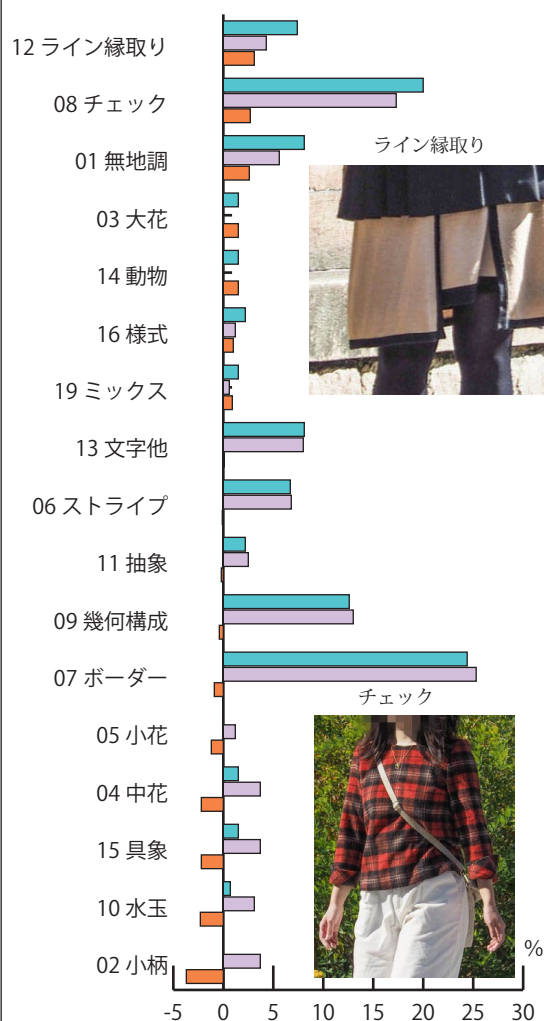
パンツ丈推移



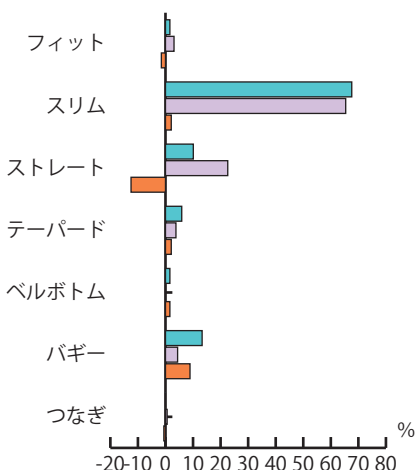
スカート丈推移



柄タイプ推移



パンツ巾 (型) 推移



靴タイプ推移

